

林崎小学校水路改修工事設計業務 特記仕様書

1. 業務目的

林崎小学校内に流れる水路が老朽化しており、早急な改修工事が必要となった。このため、水路改修工事設計業務を行うものである。

2. 設計範囲

下記に記載する施設を修繕設計における設計範囲とする。

なお、基本的には現況と同じ仕様とし、土木施設に条件上不利とならない修繕方法を選定すること。

- ・水路
- ・床版

3. 設計業務

3-1. 設計計画

業務の目的・趣旨を把握した上で、設計図書に示す業務内容を確認し、業務計画書を作成する。

3-2. 現地調査

完成図書がないことから、樋門及び構造物の寸法を計測するために現地調査を実施する。

3-3. 流域調査および流量計算

水路の流下能力を算定するために、流域調査を行う。

3-4. 水路計算

流域調査で得られた流量をもとに、水路断面の照査を行う。

3-5. 水路構造検討

現地の状況を把握し、適切な断面・配置検討を行う。

3-6. 施工計画

当該工事で必要となる工事の順序、施工方法及び工程計画を検討し、最適な施工計画案を策定する。

3-7. 特記仕様書の作成

工事で必要となる特記仕様書の作成を行う。

3-8. 設計図

修繕を行う水路改修の設計図の作成を行う。

3-9. 数量計算

作成した設計図を基に数量計算書を作成する。

3-10. 概算工事費作成

作成した数量計算書を基に概算工事費を算出する。

4-1. 作業計画

現地踏査を行った上で、測量作業における作業計画書の作成を行う。

4-2. 測量

水門の修繕設計に必要な測量作業を行う。

①現地測量

A=2000m²

②縦断測量

L=40m

③横断測量

L=30m×3箇所

4. 照査

設計手法が適切であるか、設計図面と数量計算書との整合性がとれているか照査を行う。

5. 報告書作成

成果一式の取りまとめを行い、報告書を作成する。

- ・ 報告書(紙媒体：A4チューブファイル綴じ)：2部(正副各1部)
- ・ 電子成果品(電子媒体)：2部(正副各1部)

6. 打合せ協議

打合せ協議は、以下に示す回数を想定している。

- (a) 業務着手時
- (b) 中間打合せ時(1回)
- (c) 成果品納品時